

# ①食の安全・安心について



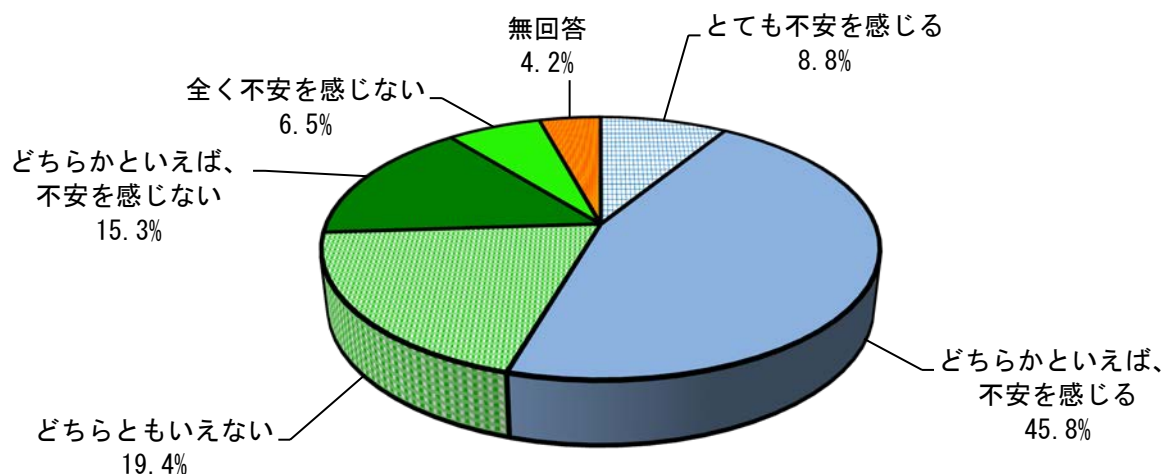
市民の皆さまの食の安全・安心を確保するためには、消費者、事業者、市といった、食に携わるすべての人による、それぞれの立場からのリスクコミュニケーション（情報や意見を交換し、相互に理解し、協力すること）が重要となります。

このアンケートでは市民の皆さまに食の安全・安心についての考え方などをおたずねし、今後の施策の検討に役立ててまいります。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

問1 あなたは日常生活で「食の安全」について、不安を感じることがありますか。  
(○は1つだけ)

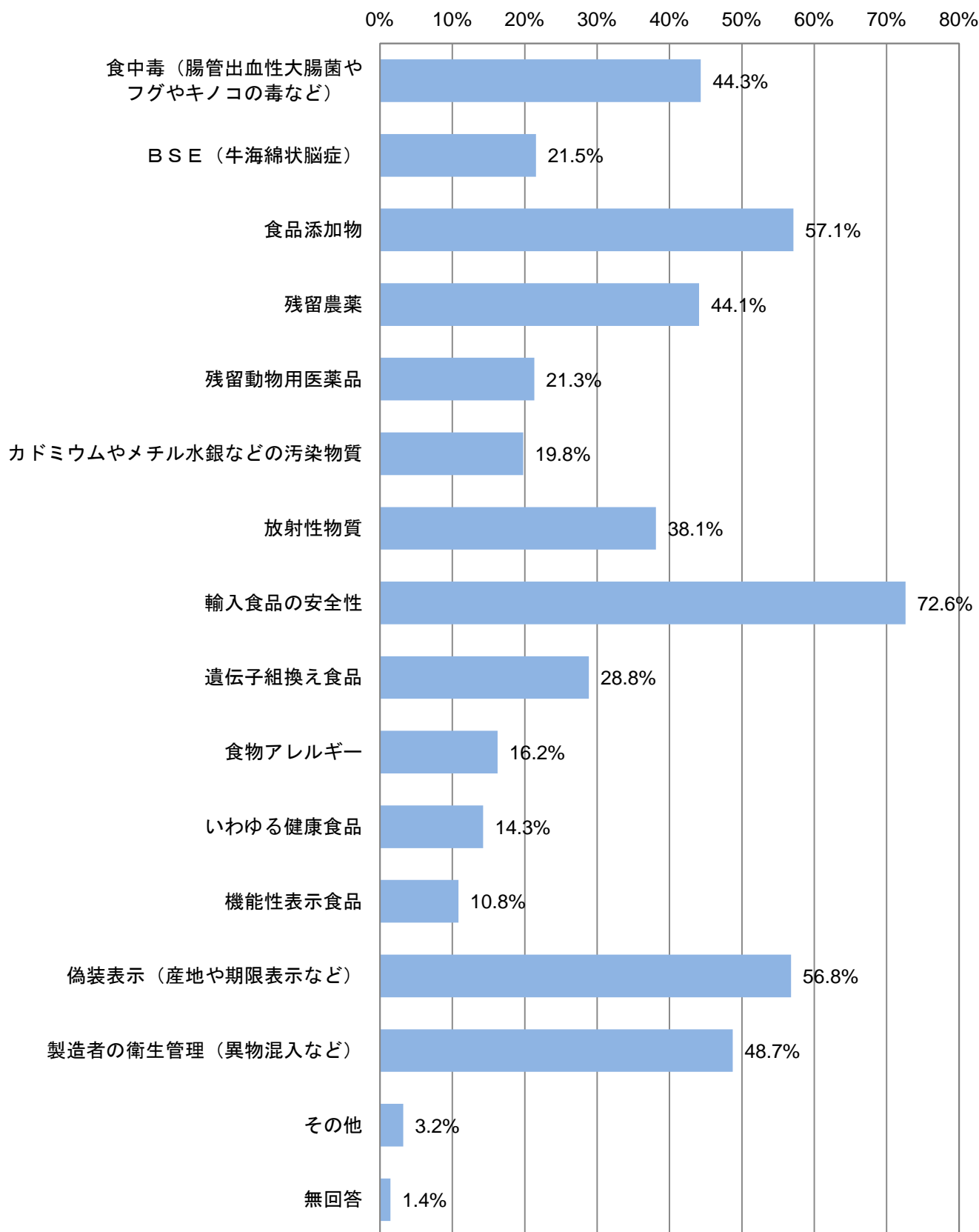
N=1,014



《問1で1～4と答えた方におたずねします。》

問2 あなたが「食の安全」について不安を感じる要因は何ですか。（〇はいくつでも）

N=905



《すべての方におたずねします。》

＜生食用食肉について＞

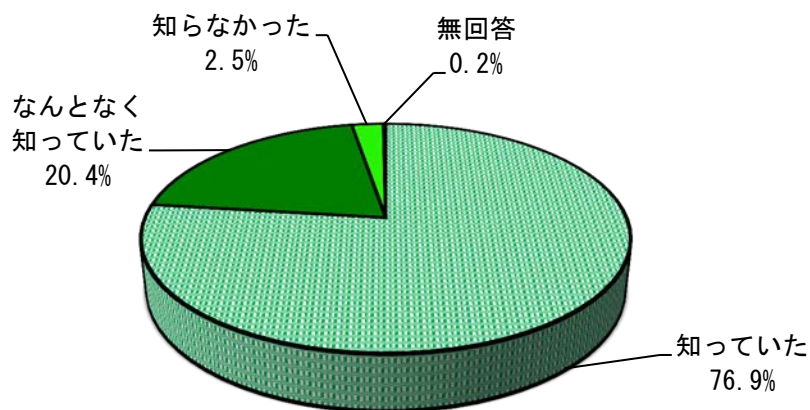
食肉にはもともと腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどの食中毒菌が存在する可能性があり、たとえ鮮度が良くても食肉を生もしくは加熱不十分で食べると、食中毒になる危険があります。

平成 23 年 4 月、焼肉チェーン店で発生した腸管出血性大腸菌による食中毒で、肉を生で食べた方数名が亡くなられ、重症者も多数報告されました。これを受け、厚生労働省は平成 23 年 10 月に牛肉の生食用食肉について食品衛生法に基づく規格基準を定め、牛肉の生食料理（牛肉刺身、ユッケ、タタキ等）については、この基準に合うものでなければ提供することができなくなりました。また、平成 24 年 7 月には牛レバー（牛肝臓）、平成 27 年 6 月には豚肉（肝臓等の内臓肉を含む）を生食用として提供することについても禁止されました。

※ このアンケートでの「食肉の生食」とはユッケ、たたき、レバー刺身、ささみ霜降り等の食肉を生または生に近い状態で食べることを指します。

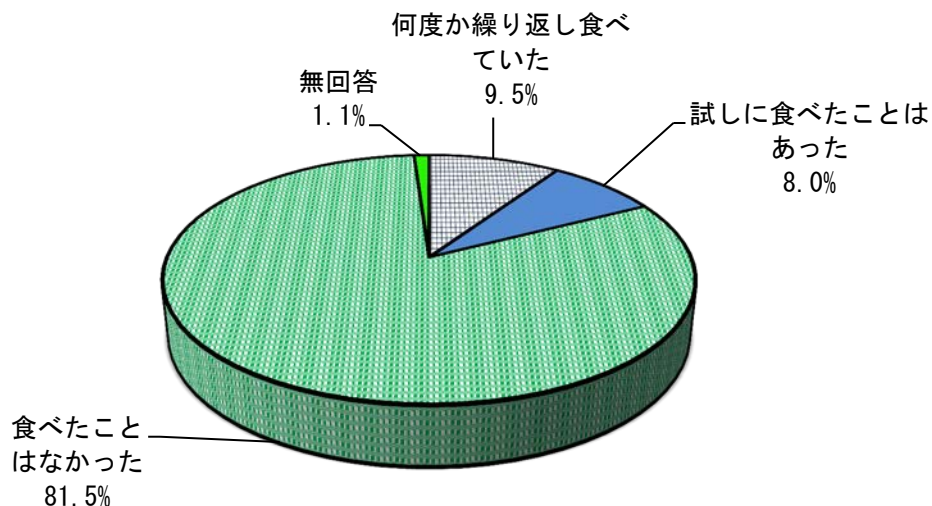
問3 あなたは、「食肉の生食」は食中毒が起こる危険性があることを知っていましたか。  
(○は 1 つだけ)

N=1,014



問4 あなたは過去1年の内に、どの程度「食肉の生食」をしていましたか。(○は 1 つだけ)

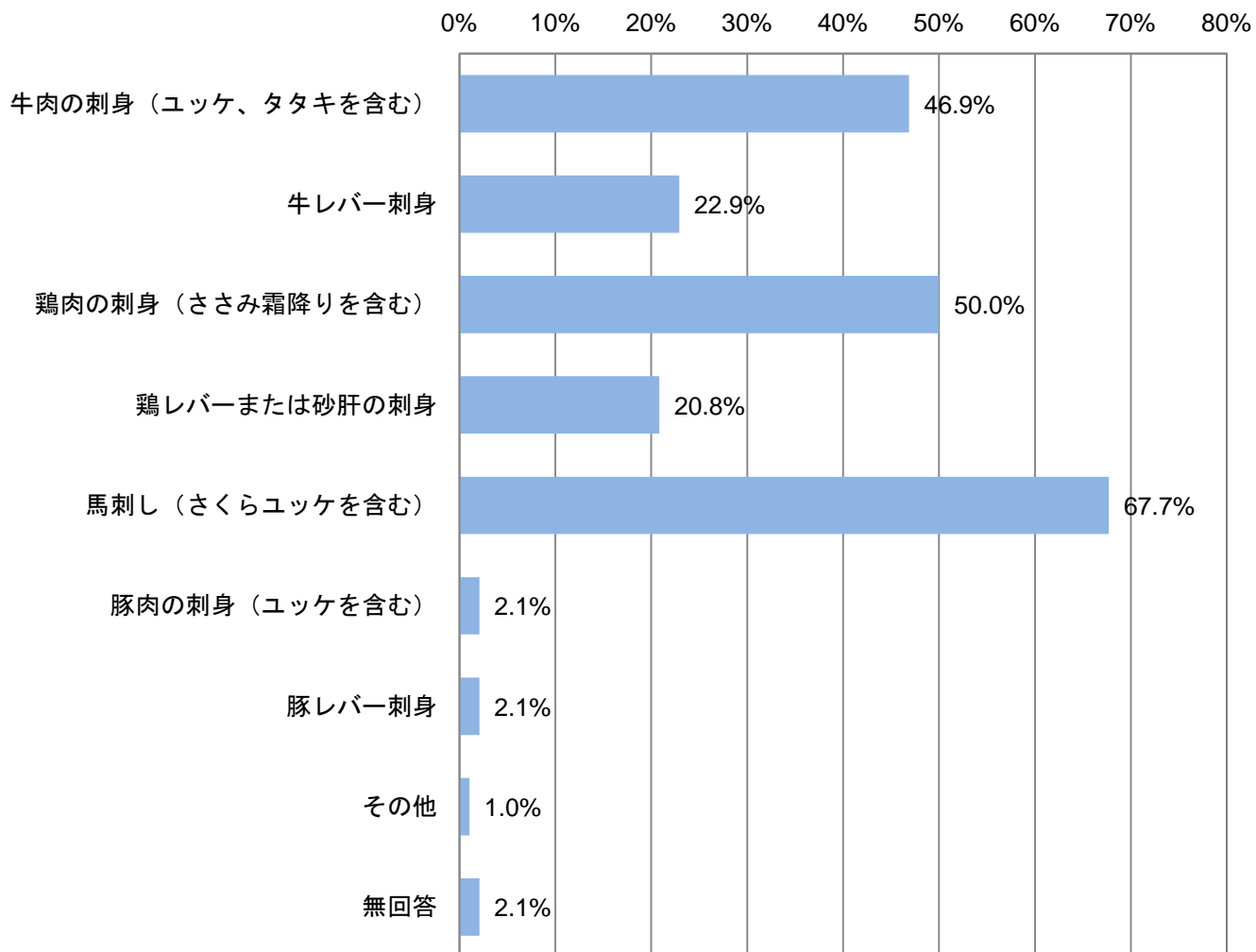
N=1,014



《問4で1と答えた方（何度か繰り返し食べていた方）におたずねします。》

問5 あなたが過去1年の内によく食べていた食肉の生食料理は何ですか。（○はいくつでも）

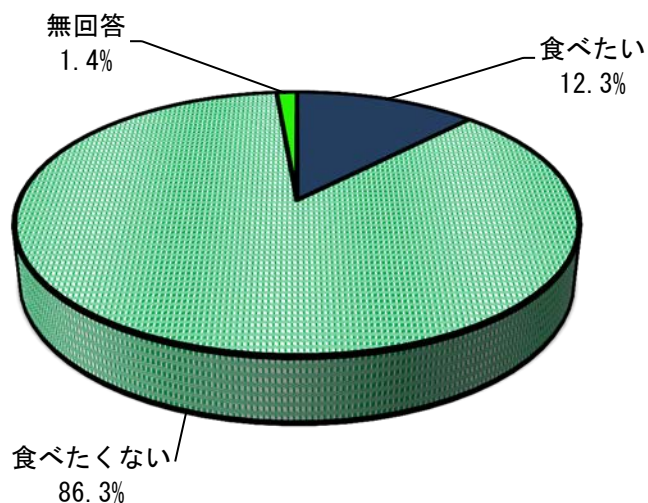
N=96



《すべての方におたずねします。》

問6 あなたは、食中毒の危険があっても食肉の生食料理を食べたいですか。（○は1つだけ）

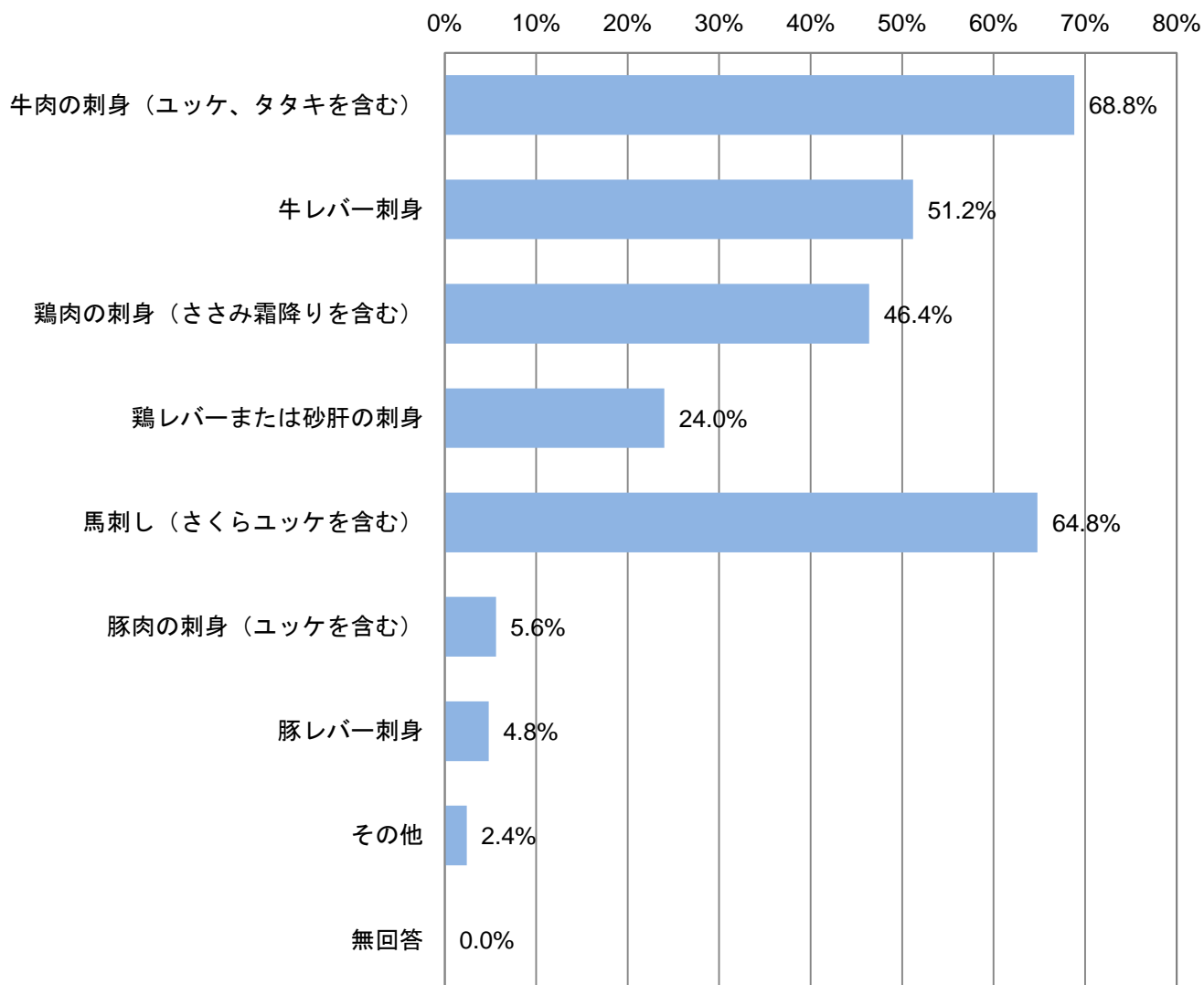
N=1,014



《問6で1と答えた方（食肉の生食料理を食べたい方）におたずねします。》

問7 あなたの食べたい食肉の生食料理は何ですか。（〇はいくつでも）

N = 125



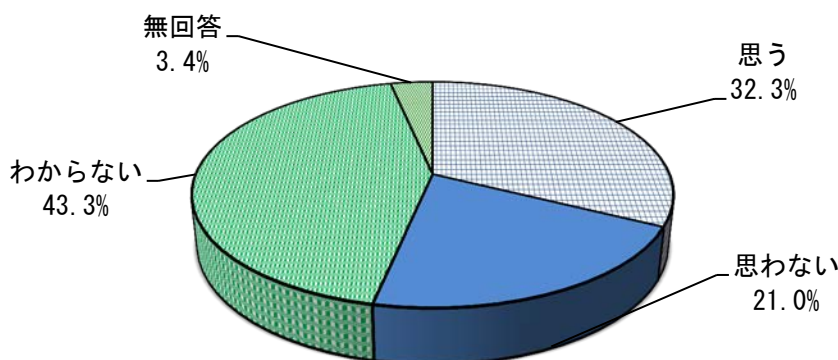
《すべての方におたずねします。》

《食品中の放射性物質について》

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故を受け、東日本の 17 都県では、国の検査計画に基づく検査が実施され、基準値を超える放射性セシウムが検出された場合は、出荷制限等の措置が取られています。名古屋市では、さらなる安全・安心の確保のため、本市独自の検査方針に基づいて食品の放射性物質検査を行っています。

問 8 あなたは放射性物質について、「基準値」を下回り、市販されている食品は安全であると思いますか。（○は1つだけ）

N=1,014



《問 8 で 2 と答えた方（安全であると思わない方）におたずねします。》

問 9 「基準値」を下回っていても安全であると思わない理由は何ですか。ご自由にお書きください。

- ・一回だけなら大丈夫でも蓄積されていったら影響があると思う。
- ・全部を検査してないからサンプルとして一部の検体を検査したから安全とは思えない。
- ・「基準値」について詳しく知らない。「以下」であることと「ゼロ」であることは違うと思うから。
- ・大人は良いと思うが、これから成長していく子ども達のことを思うと不安。
- ・基準値の値が適切かどうかわからない。

ほか

《すべての方におたずねします。》

問 10 「食の安全」について不安を感じていることやお気づきのことがあれば、ご自由にお書きください。

- ・子どもが口にするものは特に注意を払う努力はしないといけないと思う。
- ・企業の食品表示を信用するしかないが、時々マスコミの発表で偽装が指摘されるケースがあり、不安。
- ・輸入食品の表示や安全性が信用できるかたしかめる方法がないので不安である。
- ・食の安全については日常不安を感じていません。
- ・「何が安全か」、「何を信じたらよいか」はしっかり自分自身で考えていかなければならないと日々感じる。

ほか